日本名刀展 第一部

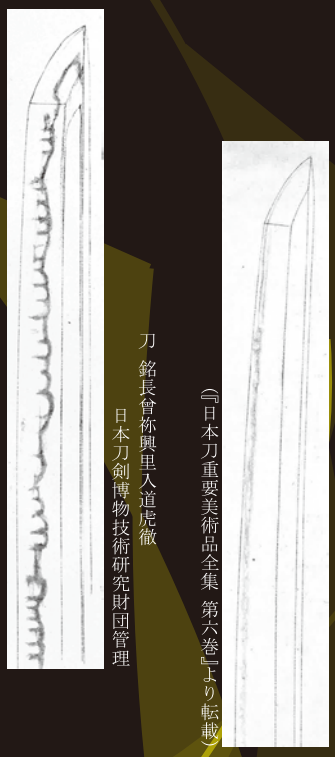
見どころ学べる！ 4.29.Sat - 6.8.Thu

目で観る 刀の教科書 展

～日本刀剣博物技術研究財団管理コレクションより～

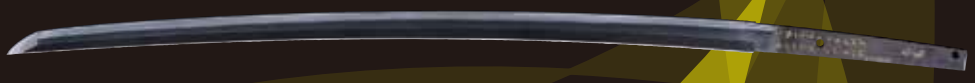
「折れず、曲がらず、よく切れる」といわれる日本刀。片刃で湾曲した形をもち、平安後期に完成したとされる。以来、鎌倉・南北朝・室町期を通じて、いわゆる刀剣五箇伝（大和・山城・美濃・相州・備前）で盛んに作刀された。時代や伝法によって異なる特色をもつ日本刀は、究極の「はがねの美」として今に伝えられている。
本展は、奈良県・薬師寺で開催した「噂の刀展Ⅱ－見どころ学べる！目で観る刀の教科書－」の巡回展として開催する。日本刀剣博物技術研究財団（大阪府茨木市）、米沢市上杉博物館等のご協力をいただき、平安後期から江戸末期までの代表的な刀工による刀剣約 40 振を出品し、日本刀の形や刃文の特色などを紹介する。

【主な展示刀剣】
元重（見返）、村正（初代・二代）、長曾祢虎徹（初代・二代）、和泉守兼定、同田貫、加州清光、大和守安定、陸奥守吉行 ほか
また、当館所蔵の短刀 銘吉光（名物 信濃藤四郎）など、重要文化財、重要美術品、県指定文化財、重要刀剣に指定されている名刀も多く出品予定



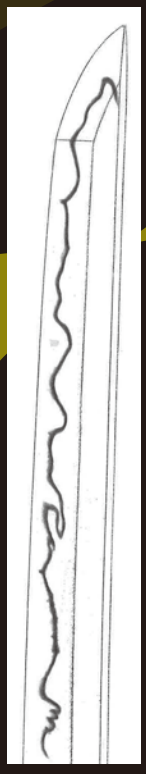
重要美術品 刀 銘行正（平治元年八月二日）
日本刀剣博物技術研究財団管理
（『日本刀重要美術品全集 第六巻』より転載）

刀 銘長曾祢興里入道虎徹
日本刀剣博物技術研究財団管理
（『増補改訂 虎徹大鑑』より転載）



重要文化財 刀 折返銘備州長船住元重（号見返）
株式会社ブレストシーブ蔵

変り形鍬 銘光親（越前康継付）
致道博物館保管



刀 銘兼定（金象嵌）号竜釣瓶…喜政所持
日本刀剣博物技術研究財団管理
（画像提供：公益財団法人日本美術刀剣保存協会）

刀 銘勢州桑名住村正（銀象嵌）梵天
日本刀剣博物技術研究財団管理
（画像提供：公益財団法人日本美術刀剣保存協会）

重要文化財 短刀 銘吉光（名物信濃藤四郎）
致道博物館蔵

◇イベント情報◆

【みんなで学ぼう!! KATANA Day】 5/13 & 5/14
内　容 ― ①13日・14日は小中生以下無料
②クイズ日本刀（子ども向け）
※全問正解者には特製ポストカードプレゼント!!

【短刀 銘 吉光 特別展示】
☆名物 信濃藤四郎（致道博物館蔵） 全期間
☆号 五虎退（米沢市上杉博物館寄託） 5/27 & 5/28
☆名物 乱藤四郎（株式会社ブレストシーブ蔵） 6/3 & 6/4

【特別講演】
☆米沢市上杉博物館 角屋 由美子 先生
日　時 ― 5月28日（日）10:00～
☆日本刀剣博物技術研究財団
日　時 ― 6月3日（土）
①13:00～ ②14:30～ ③16:00～
6月4日（日）
①13:00～ ②14:30～ ③16:00～
《両講演共通》
場　所 ― 致道博物館内 美術展覧会場
定　員 ― 各回100名（先着順）
※当日の朝8時より、希望時間の整理券を配布します

閉館時間延長のお知らせ
◯4/29 ～ 5/7　・・・18:00まで
◯5/27・28、6/3・4 ・・・20:00まで
受付は、閉館の30分前まで
※18:00以降は、美術展覧会場のみ開館

致道博物館×刀剣乱舞-ONLINE-コラボ企画
◯「おっきい こんのすけ」一日館長（5月14日㊐）
◯出羽庄内藩城下町スタンプラリー（全期間）
◯オリジナルコラボグッズの販売（全期間）

©2015-2017 DMM GAMES/Nitroplus